

平成26（2014）年度 予算要求状況について

◎予算要求額

1. 要求総額

歳入	381億1,300万円	+0.5%（前年度当初予算比）
歳出	393億2,100万円	+3.7%（前年度当初予算比）
財源不足額	12億800万円	△7億9,800万円（前年度当初要求時比）

歳入のうち、基幹である市税は、個人所得割、法人税割（現年度分）や固定資産税（家屋）等の増収を見込んだため、市たばこ税や地価下落による固定資産税（土地）の減収をカバーし、1億7,600万円（1.8%）の増額要求です。その他、生活保護・児童・医療・介護にかかる給付費などの伸びに伴う国庫支出金等の伸びを見込んだ結果、歳入予算は381億1,300万円、1億8,500万円（0.5%）の増要求となっています。

一方の歳出は、特別会計への繰出金及び生活保護・児童・医療・介護における給付費などの社会保障関係費の伸びを中心に、公共施設の管理運営費等の増加もあり歳出予算は393億2,100万円、13億9,300万円（3.7%）の増要求です。

これらにより、要求段階での財源不足額は12億800万円（前年度当初要求時比7億9,800万円の縮小）となり、今後の予算編成過程で、この収支ギャップを解消して行きます。

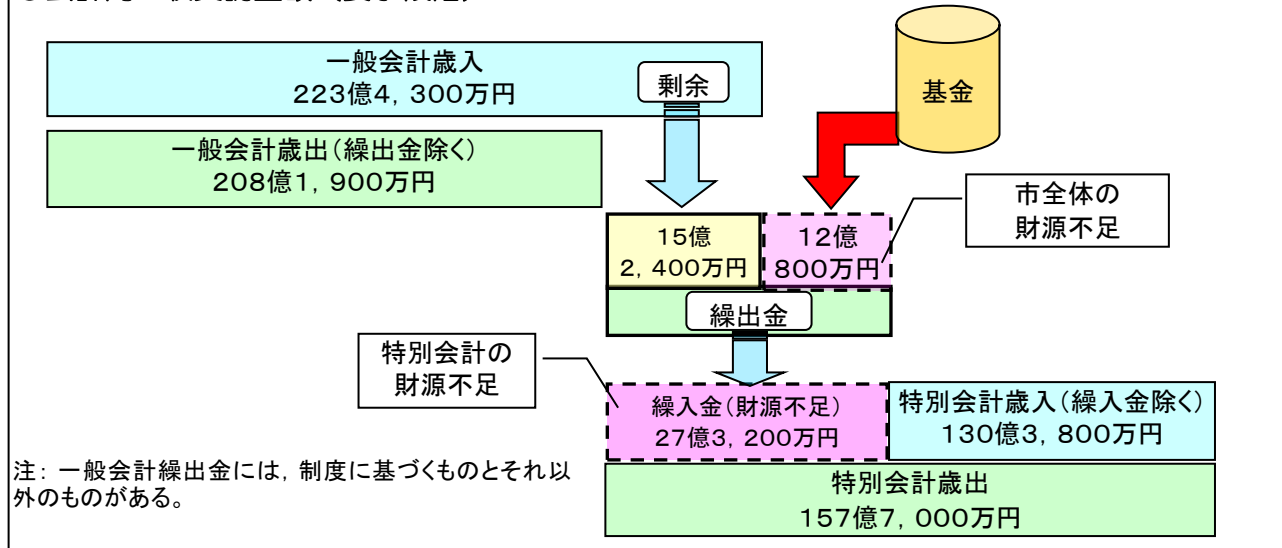
2. 会計別要求状況

単位：千円

会計名	平成26年度要求額		平成25年度 当初予算額	比較		増減率(%)	
	歳入	歳出		歳入	歳出	歳入	歳出
一般会計	22,343,406	23,551,107	23,094,000	△ 750,594	457,107	△ 3.3	2.0
国民健康保険事業	7,959,723	7,959,723	7,519,000	440,723	440,723	5.9	5.9
公共下水道事業	2,059,423	2,059,423	2,064,500	△ 5,077	△ 5,077	△ 0.2	△ 0.2
農業集落排水事業	60,085	60,085	58,600	1,485	1,485	2.5	2.5
介護保険事業	4,550,521	4,550,521	4,089,000	461,521	461,521	11.3	11.3
障がい児支援サービス事業	27,337	27,337	37,300	△ 9,963	△ 9,963	△ 26.7	△ 26.7
後期高齢者医療事業	1,095,424	1,095,424	1,051,000	44,424	44,424	4.2	4.2
介護サービス事業	17,003	17,003	14,600	2,403	2,403	16.5	16.5
特別会計合計	15,769,516	15,769,516	14,834,000	935,516	935,516	6.3	6.3
総計	38,112,922	39,320,623	37,928,000	184,922	1,392,623	0.5	3.7

注：各特別会計の収支ギャップ(赤字)は、一般会計からの繰入金で調整。

○会計間の収支調整額（要求段階）



◎会計間の収支ギャップ調整の仕組み

1. 会計

区分	一般会計(繰出前)		特別会計(繰入前)	
歳入	223億4,300万円	+0.4%	130億3,800万円	+4.8%
歳出	208億1,900万円	△4.3%	157億7,000万円	+5.4%
財源不足額	+15億2,400万円		△27億3,200万円	

注:財源不足欄の+は、黒字。増減率は、前年度当初要求時比。

2. 特別会計繰入金要求状況(一般会計による補てん必要額)

単位:千円

会計名	平成26年度 要求額	平成25年度 当初予算額	比較	増減率 (%)
国民健康保険事業	980,547	699,178	281,369	40.2
公共下水道事業	392,031	393,825	△1,794	△0.5
農業集落排水事業	39,255	38,423	832	2.2
介護保険事業	671,986	630,916	41,070	6.5
障がい児支援サービス事業	18,014	29,630	△11,616	△39.2
後期高齢者医療事業	629,280	613,341	15,939	2.6
介護サービス事業	321	847	△526	△62.1
合計	2,731,434	2,406,160	325,274	13.5

◎今後の予算編成作業

予算要求段階での財源不足額は、総額12億800万円です。要求内容を精査し、事業効果・緊急性などを勘案した事業の厳選等によって歳出予算を削減するとともに、徴収率向上等による一般財源その他歳入を確保して、財源不足額の解消に最大限努力します。

なお、平成26年度政府予算案が未定のため、予算要求はおおむね現行制度に基づくものです。最新情報の収集に努め、今後の予算編成過程で弾力的に対応します。

また、当市の最上位計画である「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」に掲げた目標の実現に向けて、「主要事業」として位置付けられた事業については優先的に取り扱い、その取組を確実に実施するものとします。

【ふるさと龍ヶ崎戦略プランにおける重点戦略】

1. 協働のまちづくりと地域力のアップ
2. 若者・子育て世代の定住環境の創出
3. まちの活性化と知名度アップ
4. 安心と住みよさが実感できる生活環境づくり

